

MRI 検査を受けられる方へ（外部病院からのご紹介）

*MRI 検査とは

磁気共鳴画像(Magnetic Resonance Imaging)の略です。X線は使用せず強い磁石と FM ラジオなどで用いられている周波数の電波を使って体内の状態を断面像(輪切り)として描出する検査です。任意の角度の断面像を撮影することができます。X線を使用しないので被ばくの心配はありません。検査時は寝台に仰向け(場合によってはうつ伏せ)で寝て頂き狭いトンネルの中に入ります。また、検査中はとても大きな音がします。耳の保護の為ヘッドフォンもしくは耳栓を使用します。

*MRI 検査の特性

さまざまな病変をより細かく精密に検査し治療方針を決定する上で欠かすことができない検査です。検査の内容によって体が温かくなる、指先がピリピリする、頭がふわふわする等感じる事があります。それらは検査終了後には治まりますのでご安心ください。装置内は狭いので閉所恐怖症のある患者様は予約時にご相談ください。

撮影時間が長い、体を動かすことができない、狭いトンネルに入る、大きな音がするなど患者様にストレスがかかる検査ではありますがご協力よろしくお願い致します。

*MRI 検査にかかる時間

通常検査の時間は、15～30 分程度です。検査によってはそれ以上かかる場合があります。検査時に担当スタッフから説明があります。体を動かすと画質が落ちてしまうのでできる限り同じ姿勢を保つ必要があります。また、撮影する部位によっては 15～20 秒程度の息止めをすることがあります。

*食事制限

腹部、骨盤部 MRI に関しては、食事は禁食となります。

午前予約の方は当日の朝食は抜いてください、午後予約の方は当日の昼食は抜いてください。

医師からの指示が無ければ、その他の部位に関して食事制限はありません。

*注意点

検査手続きなどがあるので予約時間の 30 分前に病院側(入院施設側)の受付に来院してください。

妊娠初期の安全性は確立されていません。妊娠中または妊娠の可能性がある場合は、必ずお知らせください。

心臓ペースメーカーや除細動装置 (ICD) など体内医療機器を装着している場合は、必ずお知らせください。

長期間貼付剤(ノルspanテープ等)、リブレ(血糖測定装置)は、検査時剥がす必要があるので使用期間に注意してください。カラーコンタクトレンズ(ディファイン含む)は検査時外して頂きます。当日は装着しないもしくは、外す準備をしてご来院ください。条件付き MRI 対応ペースメーカー等を装着されている患者様はご来院の際、ペースメーカー手帳と MRI カードをご持参ください。検査を受けることができなくなります。